

# ステンレス 伸縮吊り下げキッチンラック 2段

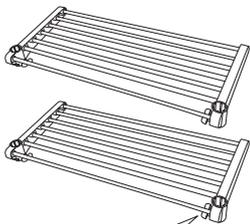
## 取扱説明書

取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。

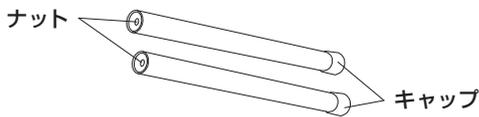
### セット内容

※組み立てる前に、セット内容が全て揃っていること・破損がないことを確認してください。

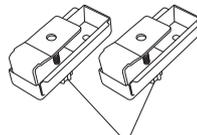
#### ■パイプ棚×2



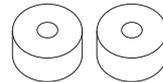
#### ■支柱×2



#### ■取付金具×2

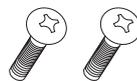


#### ■支柱上部用 キャップ×2



取付金具固定ネジ

#### ■支柱固定ネジ×2



#### ■平座金×2



#### ■スプリング ワッシャー×2

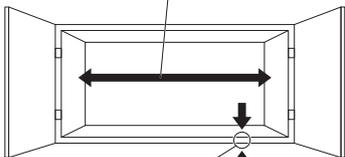


棚固定ネジ (2箇所)  
※固定ネジを締め付け過ぎますと、固定ネジの破損の原因となります。締め付け過ぎないように注意してください。

■本体外寸: 約幅600~900×奥行320×高さ480mm  
■耐荷重: 約6kg(棚1枚あたり 約3kg)

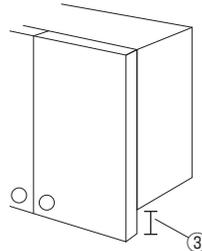
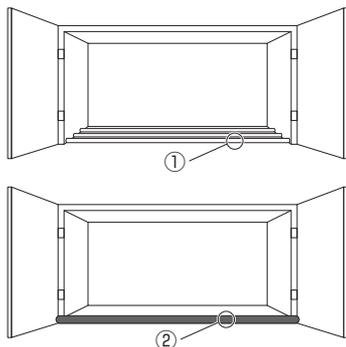
### 取り付けられる吊戸棚

- 吊戸棚の内幅が610mm以上あれば取り付けられます。



- 底板の厚さが15~30mmまでの吊戸棚に取り付けられます。

### 取り付けられない吊戸棚



- 底板の厚さが15~30mm以外の吊戸棚には取り付けられません。
- 底板がパイプの吊戸棚には取り付けられません。(①)
- 前ふちに厚いパッキンの付いた吊戸棚には取り付けられません。(②)
- 扉が底板より下がっている吊戸棚には取り付けられません。(③)

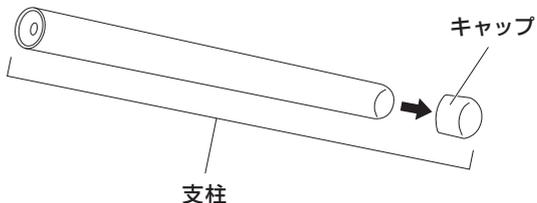
### 注意

- 強度のあるしっかりとした吊戸棚に取り付けてください。
- 火気や熱源のそばには取り付けないでください。本体の変形や破損の原因になります。
- 取り付けは2人で作業を行ってください。
- 取り付けは十分広い場所で行ってください。
- 取り付けのときは手袋を着用してください。ケガをする恐れがありますのでパイプの端面には直接手を触れないでください。

### 取り付け方法

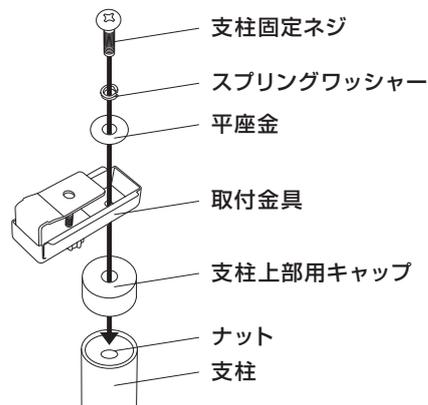
※手を切る恐れがありますのでパイプ端面には触らないでください。  
組み立てのときは手袋を着用してください。  
※⊕ドライバーはお手持ちのものを使用してください。

#### 1 支柱のキャップを外します。

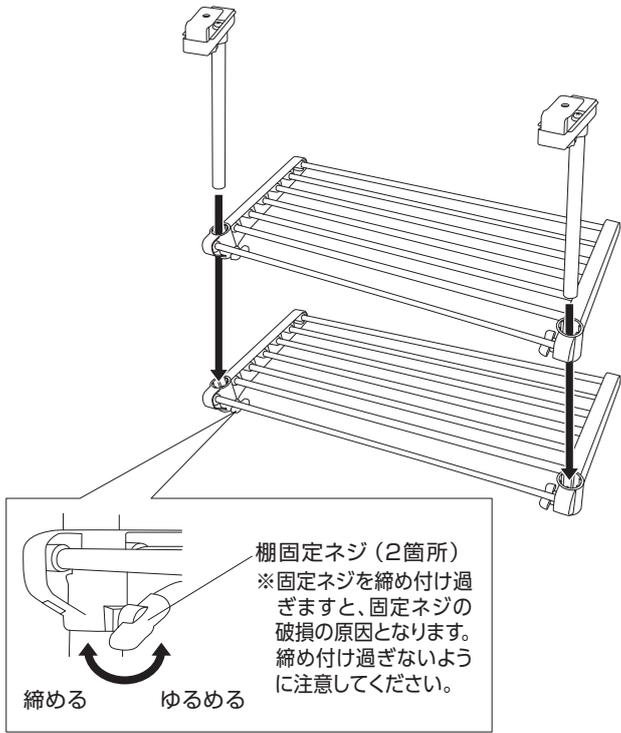


#### 2

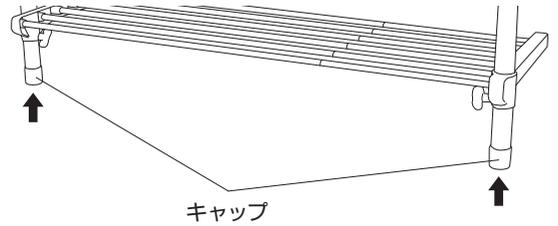
支柱のナット側に支柱上部用キャップ・取付金具・平座金・スプリングワッシャー・支柱固定ネジの順に⊕ドライバーでしっかりと取り付けます。



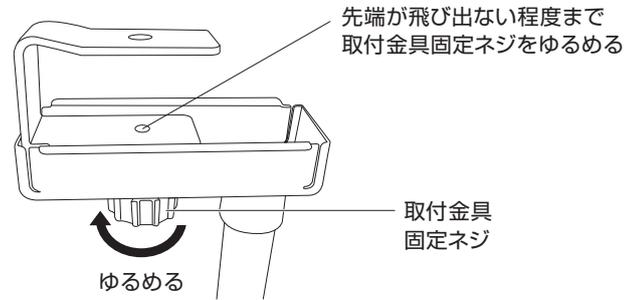
**3** 棚固定ネジを支柱が通る程度にゆるめてパイプ棚の上側から支柱を通し、棚固定ネジをパイプ棚がずり落ちない程度に締め付けて仮固定します。



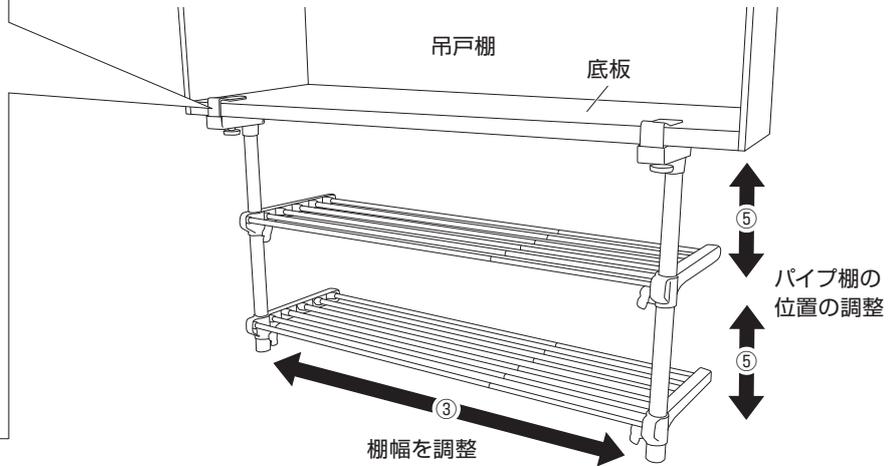
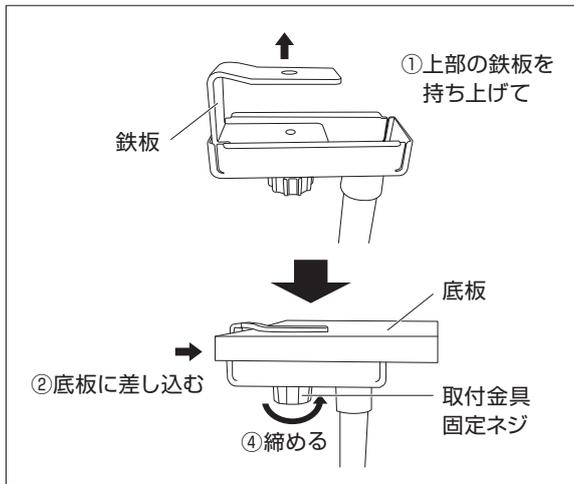
**4** 1で外した支柱のキャップを元の箇所にしっかりと取り付けます。



**5** 取付金具固定ネジをネジの先端が金具から飛び出ない程度までゆるめます。



**6** ①上部の鉄板を持ち上げて、②左右の取付金具を吊戸棚の底板に最後までしっかり差し込みます。  
③棚幅を伸縮範囲内で調整します。  
④支柱と取付金具固定ネジの間に指を挟まないように注意して取付金具の固定ネジをしっかりと締め付けて吊下棚の底板に固定します。  
⑤棚固定ネジをゆるめ、パイプ棚を使用する位置に移動し棚固定ネジをしっかりと締め付けて水平に固定してください。



## 使用上の注意

- 用途以外に使用しないでください。
- 必ず平らな面に設置してください。傾斜した面に設置すると転倒やガタつきの原因になります。
- 耐荷重を超えるものは破損・ケガの原因になりますのでのせないでください。耐荷重は計測値で保証値ではありません。
- 均等に物をのせてください。急激な荷重は掛けしないでください。
- 危険物・貴重品・壊れやすいものはのせないでください。高温なものは絶対にのせないでください。
- 火気や熱源のそばには取り付けしないでください。本体の変形や破損の原因になります。
- 取り付け後2～3日後に取付金具固定ネジにゆるみがないか確認してください。
- 使用している間にネジのゆるみやゆがみが発生する場合があります。金属のバリの有無やひび割れた箇所がないかなど定期的に点検してください。異常が見つかった場合はただちに使用を中止してください。
- 落としたり、固いものにぶついたりするなど強い衝撃を与えないでください。
- 異種金属と接触したまま放置しないでください。サビ発生の原因となります。
- 本製品に汚れや水分がついた場合は、乾いた布などで拭き取ってください。付着したまま放置するとサビ発生の原因になります。
- パイプ表面に斑点状の赤サビが発生することがありますが、周囲にある鉄分が付着したものですので細目のサンドペーパーなどで取り除くことができます。
- 酸性洗剤、タイル用洗剤、漂白剤などはサビ・破損の原因になりますので使用しないでください。
- 汚れたときは薄めた中性洗剤で汚れを落とし、乾いた布で水気をしっかりと拭き取ってください。金属タワシ、磨き粉などでこするとキズがつくことがあります。
- 掃除のときなど棚を強く押さえつけて拭かないようにしてください。

※商品改良のため仕様・外観は予告なく変更することがあります。また、イラストと商品が異なることがありますのであらかじめご了承ください。